

利用目的は使用開始の動機とも関係すると思われるが、それを表したのが表1（インプレス調査：既接続者のみ対象。N=1,410 複数回答）である。5割の人が「趣味」を挙げ、以下「仕事」（33%）「研究」（14%）の順となっている。

インターネットは大学や各種研究機関を中心に拡大してきた経緯があるが、この数字で見ると、現在では“非研究”目的の利用が主流になっているように思われる。そのことは同時に、この1年でインターネット利用者が急増する要因になったともいえるだろう。

一方、図24（ミシガン大学ビジネススクール調査。複数回答）を見ると、海外では全体の83%の人が「ブラウザーを見ること」を利用目的として挙げている。以下「一般の米国人」では「娯楽」（58%）「仕事関係」（57%）「教育」（50%）と続き、「欧州人」では「娯楽」（51%）「仕事関係」（48%）「学術関係の調べもの」（45%）、「カナダ・メキシコ人」では「仕事関係」（55%）「娯楽」（51%）「教育」（47%）などが上位にきている。

この結果を表1と比較すると、非研究関係が主流になっていることやブラウザーを見ることに面白さを感じていることなどは似ているが、利用目的に幅のある点が普及し始めたばかりの日本とは異なるように思われる。特に「教育」での利用は日本と大きな差があるのではないだろうか。

ちなみに、オンラインショッピングは「主たる動機として一般的でない」とのコメントがあるように、今のところ海外でも利用目的に挙げる人は少ないようだ（全体で10%）。その点に関しては図25（CSJ調査。N=2,495）でも同様の結果が得られている。

#### 14. 利用方法

では利用者はインターネットでどんなことをやっているのだろうか。それを表したのが図26である（インプレス調査：既接続者のみ対象。複数回答。「学校・会社」：N=1539、「自宅」：N=1702。図16で「会社と自宅の両方」の回答者はいずれの対象ともなる）。

一見してわかるとおり「学校・会社」「自宅」ともに同様の傾向を示している。「WWW」（「学校・会社」：34%、「自宅」：38%）と「電子メール」（同：31%、同：29%）が中心で、以下「FTP」（同：15%、同：14%）「NetNews」（同：13%、同：12%）「telnet」（同：7%、同：5%）と続いている。

この結果から判断する限り、現在のところではまだTPOに応じた使い分けが確立しているわけではないようである。むしろ表1に挙げた「仕事」や「研究」「趣味」などそれぞれの利用目的に沿って、どんな利用方法が自分や組織にマッチしたものかを模索している段階といえるだろう。

#### 15. 使用しているハードウェア

	全体 (%)	男	女
仕事	462 (33%)	448	13
研究	496 (14%)	189	7
趣味	711 (50%)	689	22
その他	42 (3%)	37	5
合計	1,410	1,363	47

\*複数回答あり

表1 インターネットの利用目的 (I)

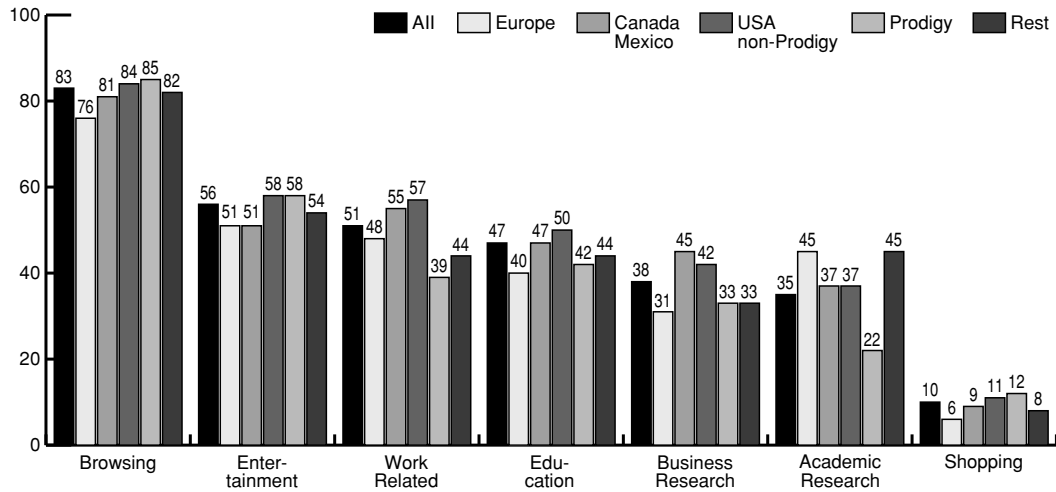


図24 WWWの主な使用目的

Sunil Gupta of the HERMES project at the Michigan Business School (sgupta@umich.edu, <http://www.umich.edu/sgupta/hermes.htm>), and Jim Pitkow and Mimi Recker of the Gvu Center's 3rd WWW User Survey ([http://www.cc.gatech.edu/gvu/user\\_surveys/](http://www.cc.gatech.edu/gvu/user_surveys/)) June 8, 1995

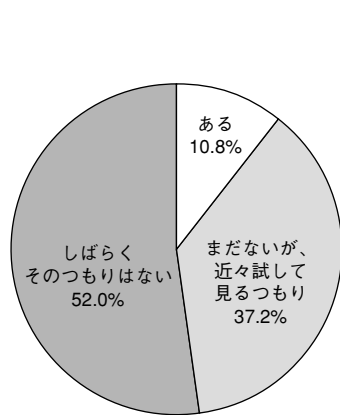


図25 オンラインショッピングの利用経験 (C)

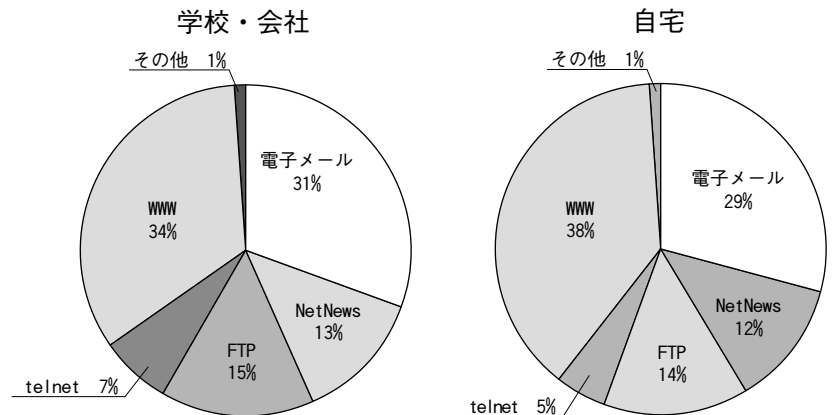


図26 インターネットの利用方法(I)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)